

長野県知事の意見

(上伊那広域連合新ごみ中間処理施設建設に係る環境影響評価準備書)

[全般]

- 1 事業の実施に当たっては、環境影響評価について引き続き積極的な情報公開を行い、地域住民の安全・安心の確保に努めること。
- 2 評価に当たっては、環境保全に関する目標との整合性が図られているかという観点だけではなく、現在の環境との比較による評価を実施すること。

[水象]

- 3 水象の事後調査計画については、既存の井戸への影響が的確に把握できる場所に、モニタリング用の井戸を設置すること。

[植物・動物]

- 4 絶滅危惧種の蝶であるミヤマシジミの環境保全措置については、生息域外保全システムにより行うこと。また、保全域の確保という代償だけではなく、食草であるコマツナギの保全による個体群の確保等、最小化による保全対策を検討すること。

[景観]

- 5 建物の設計に当たっては、計画地周辺のなだらかで柔らかい曲線の多い景観との調和について考慮すること。